

三井山百合会

会長 廣瀬 俊雄

麻生区の中で、もっとも高齢者が多い地区が二つあり、1位は譲つても栄えある二番目が我が王禅寺西2丁目の地域です。世帯数は360、会員数347。自治会の発足は、昭和42年9月、当初より住人の自治意識が高く、住環境を守るための意識も活動も盛んなところでした。

地理的には、新百合ヶ丘駅の南東部に位置しており、日当たりのいい斜面に大半の住宅が軒を並べています。大気の澄み切った時期に

あさおの町会・自治会 Vol.23

千代ヶ丘町会

会長 高橋 慶子

千代ヶ丘町会のスタートは、まだ開発が進んでいない昭和48年4月でした。当時は16世帯で周りは、小高い山と広い野原でした。日常の買い物は、百合ヶ丘からのスーパーのお買物バスでした。

地域の開発が始まり、この間千代ヶ丘小学校開校・百合ヶ丘駅・新百合ヶ丘駅行きバス路線の開設・スーパーを始め、郵便局・JA(農業協同組合)、各種医院の開業、千代ヶ丘中央の信号機も設置され、周辺の発展に

は、富士山が丹沢連峰の上に美しい姿を見せてくれます。また、遙か南アルプスの白雪を頂いた峰々が望めます。

王禅寺公園交差点の近くにバス停「王禅寺公園下」が新設されて、たまプラーザ方面へのアクセスも改善されました。

この界限は、麻生区の中でも居住環境がとくに優れ、かつては朝夕、一流会社の役員や高級官僚の送迎ハイヤーが、何台も並んだことから、地域の不動産広告でも「憧れの王禅寺西2丁目」「垂涎の王禅寺西2丁目」等と派手にうたわれた時期もありました。

その余波といまじょうか、自治会の活動も発足当初とはかなり変わっています。

歩調を合わせる様に、町会への入会も増え、現在180世帯となっています。当初から入会時に、調査票(家族構成・生年月日等)を提出いただいています。調査票は、災害発生時の安否確認、成人の日や敬老の日のお祝い、対象者の確認資料として、会長宅に会員台帳として保管しています。65歳以上の方には、敬老の日に、民生委員と一緒に、お元気を確認しながらお祝いを渡しています。20歳を迎えられた方には、成人の日に、お祝いを届けています。また、毎年の市内統一美

それも、過日の光景となり、今ではリタイヤ世代の「ご夫婦や、つれあいを亡くされた一人暮らしの単身高齢者が居住者の多くを占める時代となりました。空き家、空き地も目立つようになり、広い敷地を分割して小住宅やアパートに建て替えられ、それなりに高級感があつた住宅街も、時代の荒波には逆らえず、少しずつ変わろうとしています。

その余波といまじょうか、自治会の活動も発足当初とはかなり変わっています。

その余波といまじょうか、自治会の活動も発足当初とはかなり変わっています。

その余波といまじょうか、自治会の活動も発足当初とはかなり変わっています。

西久保緑地草刈り風景



区域も都市計画法上の第一種住居地域「南地区」と、第一種低層住居地域「北地区」に分かれています。当然のことながら、一つの敷地が両地区の境界線になっているケースも多くあります。

そのため、自治会でも建築細則を取り決めて対処していますが、時代の変化に伴い、この先いろいろと問題も起きてきそうです。

また、空き家や空き地、単身の高齢者が増えるに伴い、見守りや声かけ、治安災害対策等を含めて自治会

役員の負担が増えることは必至で

大人の方には、ビール等を用意して、会員間のコミュニケーションを図っています。恒例の盆踊り大会は、近隣の八町会の皆様と力を合わせて、千代ヶ丘小学校校庭で、盛大に開催しています。夕方5時からの地域の幼小・中・高出演のアトラクション(踊り、ダンス、ブラスバンド)は、地域の皆様から、感動の声援を送っていただいています。町会の防犯活動ですが、東日本大震災を体験して、

当自治会は、発足当初から祭礼や運動会、演芸会のような行事はなく、昨年はじめての企画として、黒川での芋掘り会を実施した次第です。

一時期は、自治会役員になり手が少なかったようですが、最近、少しずつ若い世帯も増えて来て、積極的に自治会活動に参加して下さる雰囲気が出てきました。

お子様を育てるには、良い環境の地域ですので、今後さらに多くの若い世帯が増えて、高齢者の皆様とあられたな町づくりが出来ていければと願っています。

会員の皆様の意識が「地域の絆を大切に」支え合いの輪を取り戻したいとの思いに変わりました。以来毎年、防災会議を軸に避難所運営会議「5町会合同訓練」を行って来ま

今年度の総会では、昨年11月に長野県白馬村で起きた大地震での教訓「一人も死者を出さない」に学び、「向こう三軒両隣」の精神で日常的に安否確認の励行を確認しました。平成元年に「森林浴の公園」「市民の憩える場」として、西久保緑地が開園されたのですが、その後荒地に。近年、区の里山ボランティアの皆様をサポートいた



西久保緑地に咲いた山ゆり

き、町会の皆様と草刈りに励んだ所、昨年の夏、嬉しい事に区の花「山ゆり」が咲きました。千代ヶ丘町会は今後益々高齢化が進みますが、地域の中で暮らす高齢者や障害者の皆様に安心して暮らせる、優しい町づくりを心掛けて、地域力を育てて行きたいと思います。

行政相談のご利用案内

行政相談委員は総務大臣から委嘱された民間有識者で全国に約五千人います。皆様の身近な相談相手として、国の仕事に関する苦情などの相談を広く受け付け、助言や関係行政機関に対する通知などを行っています。麻生区では3名が毎月第2火曜日の午後1時から4時まで相談をお受けしています。

問 区役所地域振興課 (965) 51119  
総務省  
神奈川県行政評価事務所

045(681)1165  
http://kanag30@soumu.go.jp

麻生区のデータ

(平成27年6月1日現在)	
人口	175,553人
男	85,301人
女	90,252人
世帯数	75,768世帯
町会加入世帯	47,832世帯



平成26年度 麻生区廃棄物減量指導員 功労者表彰

◆3月24日平成26年度麻生区廃棄物減量指導員功労者表彰式が開催され、次の方が表彰されました。

鈴木 浩一(柿生駅前町内会)

野村 正信(片平町内会)

高橋 好江(栗木町内会)

大熊 俊雄(コーポラティブハウス柿生管理組合)

藤野 祐子(サンラフレ百合ヶ丘自治会)

佐俣 淳彦(マイシティ新ゆり町内会)

受賞おめでとうございます。